

2026年3月期第2四半期(中間期) 決算補足資料

あつい心で未来を創ります



中部鋼板株式会社

東証プライム・名証プレミア:5461

決算サマリー

・鉄鋼市況の低迷と前期の事故による受注影響により、大幅な減収減益

連結売上高

23,263 百万円

前年同期比 ▲23.8%

連結営業利益

560 百万円

前年同期比 ▲84.6%

営業利益率 2.4%

連結経常利益

652 百万円

前年同期比 ▲81.6%

経常利益率 2.8%

親会社株主に帰属する中間純利益

441 百万円

前年同期比 ▲82.3%

純利益率 1.9%

業績予想の修正

・通期業績予想を下方修正、配当予想は変更なし

当初予想に対し、鉄スクラップ価格の上昇と販売数量・販売価格の落ち込みが見込まれることから通期業績予想を下方修正（詳細は7ページへ）

連結損益計算書(P/L)

- ・鉄鋼市況の低迷が継続したことに加え、前期の溶鋼漏れ事故による一時受注停止も影響し、売上高減少
- ・鉄スクラップ価格下落を上回る販売価格の下落によりメタルスプレッド縮小、製造コスト上昇で収益圧迫
- ・鉄鋼製品 販売数量▲15.4% 販売単価▲11.7%

(単位:百万円)

	2025年3月期2Q累計		2026年3月期2Q累計		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
売上高	30,531	100.0%	23,263	100.0%	▲7,268	▲23.8%
売上原価	24,365	79.8%	20,338	87.4%	▲4,027	▲16.5%
売上総利益	6,165	20.2%	2,924	12.6%	▲3,241	▲52.6%
販管費	2,536	8.3%	2,364	10.2%	▲171	▲6.8%
営業利益	3,629	11.9%	560	2.4%	▲3,069	▲84.6%
営業外損益	▲79	▲0.3%	92	0.4%	+172	—
経常利益	3,549	11.6%	652	2.8%	▲2,896	▲81.6%
特別損益	105	0.3%	—	—	▲105	▲100.0%
親会社株主に帰属する 中間純利益	2,501	8.2%	441	1.9%	▲2,060	▲82.3%

セグメント別業績

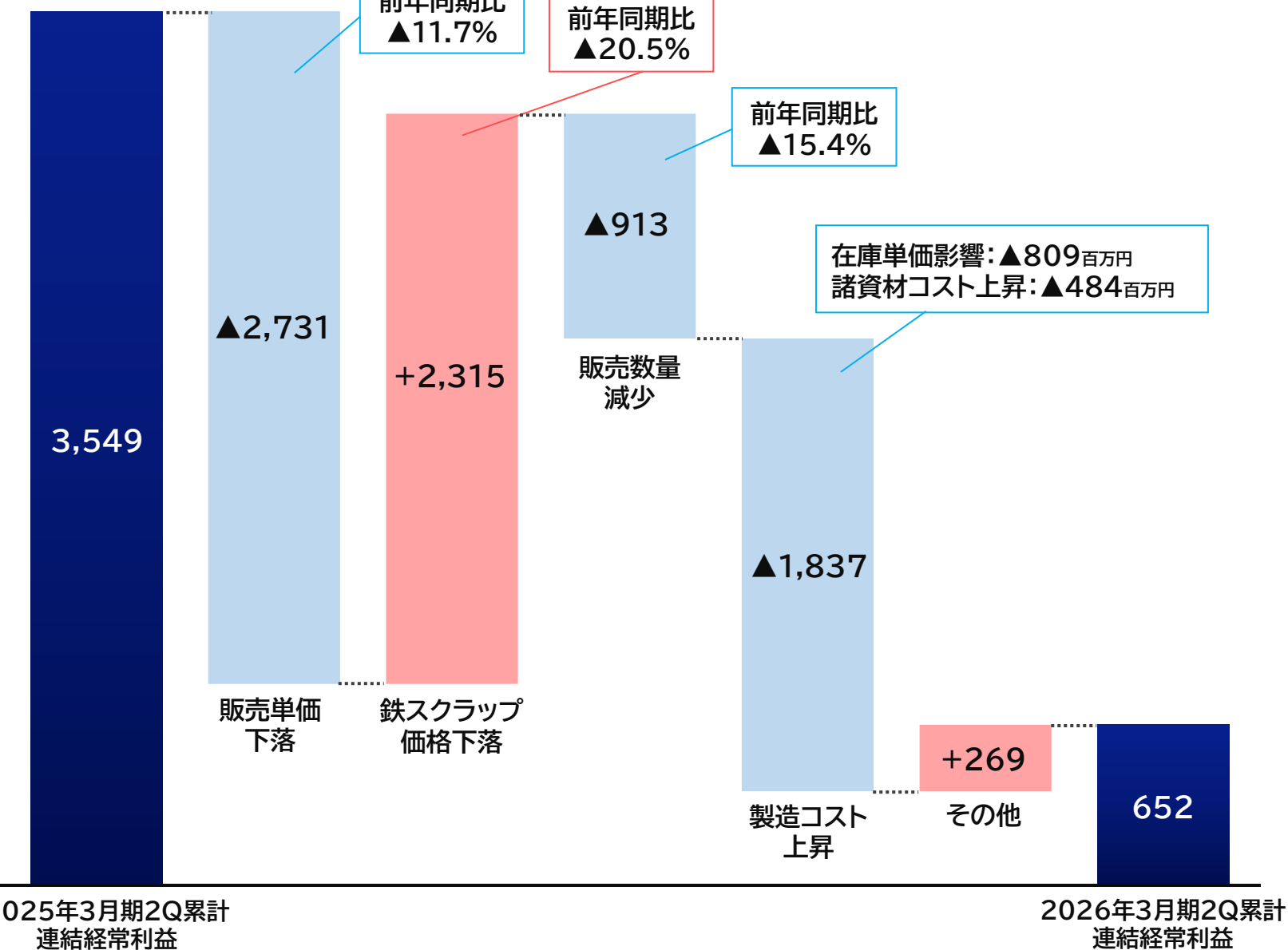
- ・レンタル事業はグリスフィルターレンタルおよび広告看板制作が好調で増収増益
- ・物流事業はリチウムイオンバッテリーの取扱量減少と諸コスト増加で減収減益
- ・エンジニアリング事業は前期の大型案件が剥落したことにより減収減益

(単位:百万円)

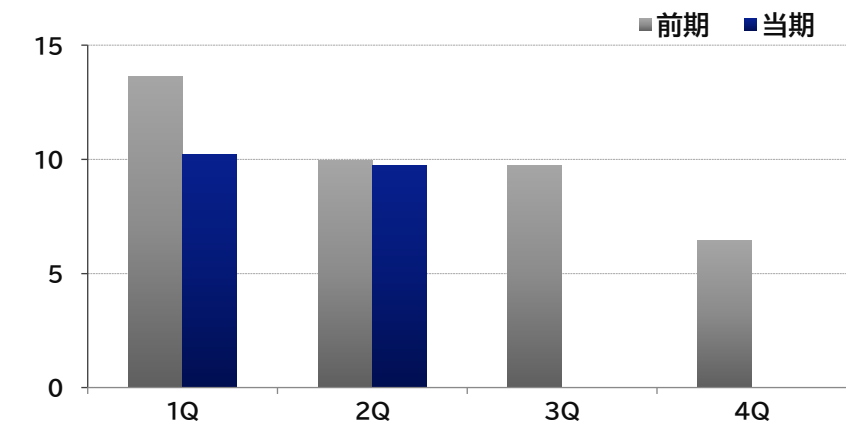
		2025年3月期2Q累計		2026年3月期2Q累計		増減	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
外部顧客に対する 売上高	鉄鋼関連事業	29,104	95.3%	21,903	94.2%	▲7,200	▲24.7%
	レンタル事業	373	1.2%	388	1.7%	+14	+4.0%
	物流事業	293	1.0%	258	1.1%	▲35	▲12.0%
	エンジニアリング事業	760	2.5%	713	3.1%	▲47	▲6.2%
	(合計)	30,531	100.0%	23,263	100.0%	▲7,268	▲23.8%
セグメント損益 (営業損益)	鉄鋼関連事業	3,414	94.1%	400	71.4%	▲3,014	▲88.3%
	レンタル事業	33	0.9%	46	8.3%	+13	+39.7%
	物流事業	103	2.9%	49	8.9%	▲53	▲51.9%
	エンジニアリング事業	49	1.4%	25	4.5%	▲23	▲48.3%
	セグメント間取引消去	29	0.8%	38	6.9%	+9	+31.8%
	(合計)	3,629	100.0%	560	100.0%	▲3,069	▲84.6%

連結経常利益増減要因(前年同期比)

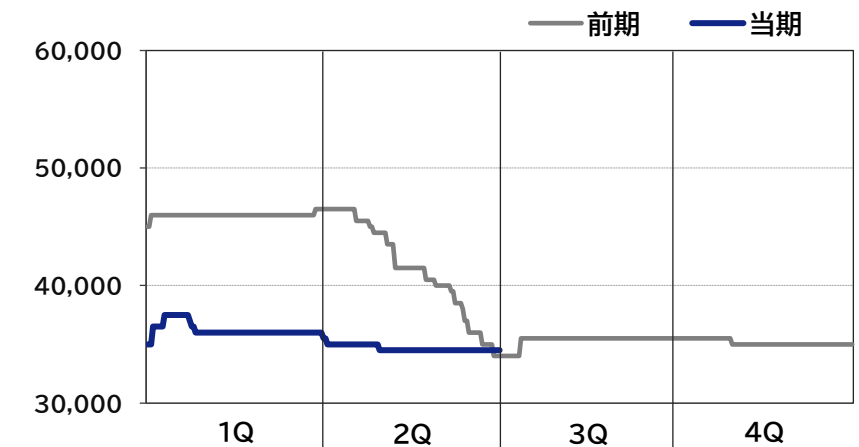
(単位:百万円)



鉄鋼製品販売数量(万トン)



鉄スクラップ価格推移(H2建値:円/トン)



連結貸借対照表(B/S)

- ・総資産は648百万円の減少、負債は223百万円の減少、純資産は425百万円の減少
- ・棚卸資産の増加は操業再開に伴う製品・仕掛品在庫の正常化によるもの

(単位:百万円)

	2025年3月末	2025年9月末	増減		2025年3月末	2025年9月末	増減
資産の部	84,565	83,917	▲648	負債の部	8,543	8,320	▲223
流動資産	46,579	45,654	▲925	流動負債	7,543	7,076	▲466
当座資産	40,244	35,016	▲5,227	買掛債務	3,652	4,909	+1,256
棚卸資産	5,628	10,205	+4,576	その他	3,890	2,167	▲1,723
その他	706	432	▲273	固定負債	999	1,243	+243
固定資産	37,985	38,262	+277	純資産の部	76,022	75,597	▲425
有形固定資産	24,534	24,822	+288	株主資本	73,190	72,269	▲921
無形固定資産	169	155	▲14	その他の包括利益累計額	2,088	2,571	+483
投資その他の資産	13,281	13,284	+2	非支配株主持分	743	755	+12
資産合計	84,565	83,917	▲648	負債純資産合計	84,565	83,917	▲648

自己資本比率(%)	89.0	89.2	+0.2
-----------	------	------	------

2026年3月期 連結業績予想

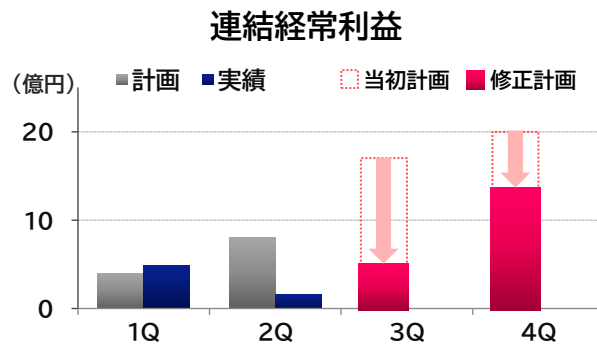
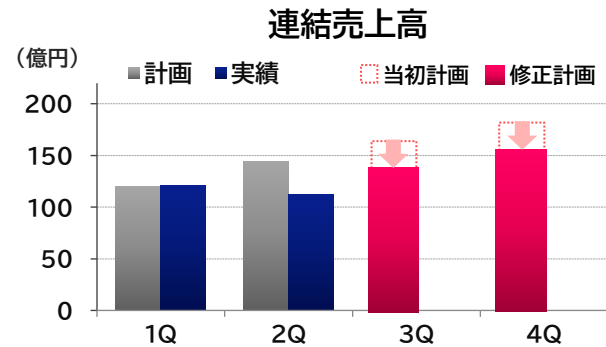
5/8公表値を下方修正

- ・主原料である鉄スクラップ価格は当初予想を上回る見込み
- ・厚板の需要停滞により販売数量・販売価格ともに当初予想を下回る見込み

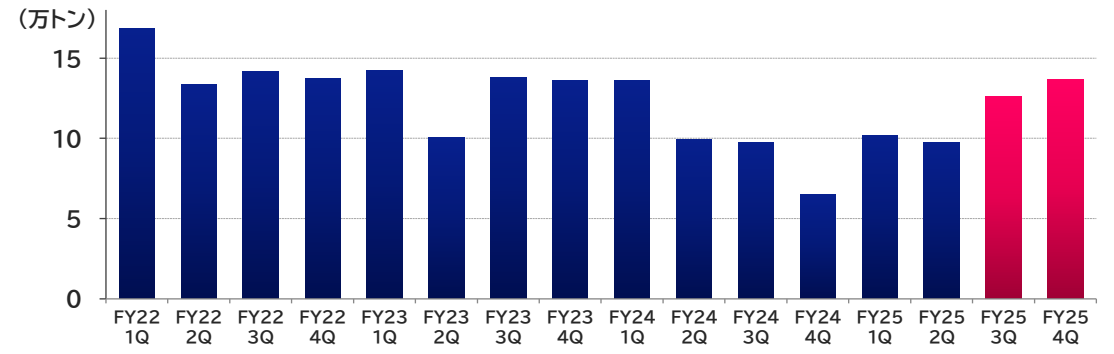
(単位:百万円)

	通期						
	前期実績	当初予想値 (5/8公表)	修正予想値 (10/30公表)	前期比 増減	増減率 (%)	当初予想比 増減	増減率 (%)
売上高	51,047	61,100	52,800	+1,752	+3.4	▲8,300	▲13.6
営業利益	2,704	5,000	2,300	▲404	▲15.0	▲2,700	▲54.0
経常利益	2,599	5,000	2,600	+0	+0.0	▲2,400	▲48.0
親会社株主に帰属する当期純利益	1,731	3,300	2,100	+368	+21.3	▲1,200	▲36.4
1株当たり当期純利益(円)	63.95	121.85	77.52				

業績進捗(四半期別)



鉄鋼製品販売数量の推移



計画

- ・24中期経営計画に基づき、DOE3.5%を目途に配当を実施
- ・中間配当金は当初予想通り一株当たり50円で確定
- ・期末配当予想51円も修正なし、年間配当金額は101円の見込み

中間配当 **50**円(確定)

期末配当 **51**円(予想)

年間配当金
101円
(予想)

配当方針

安定的な配当に意を払いつつ、業績に見合った弾力的な配当を行う

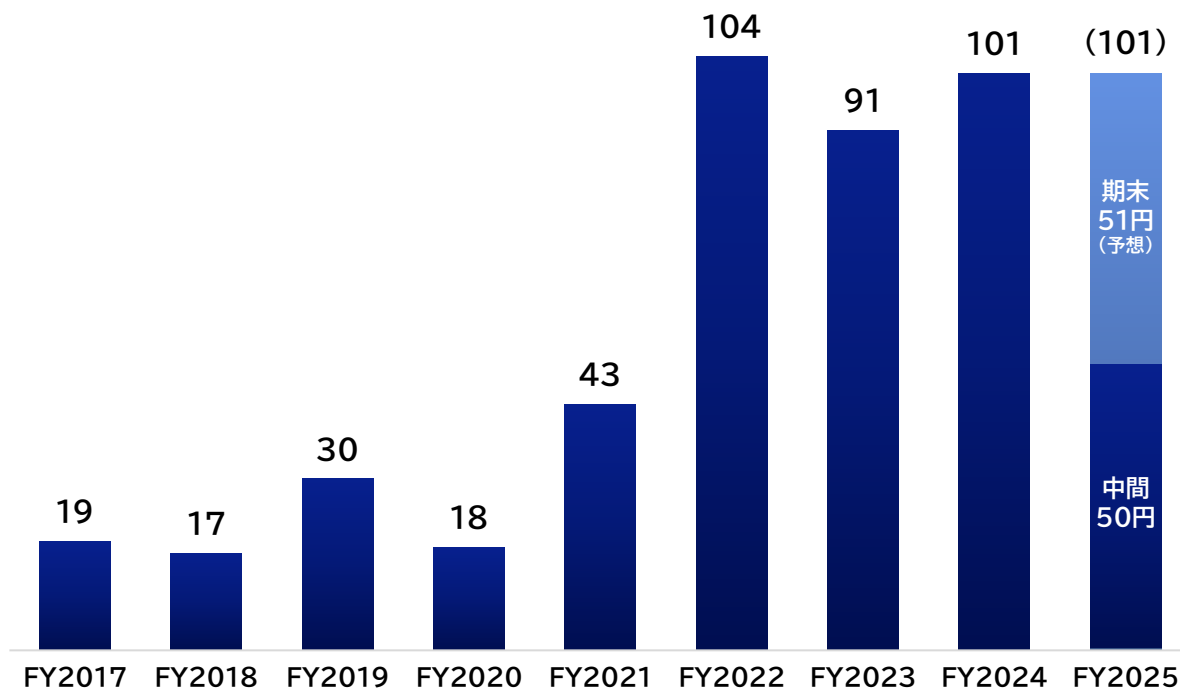
24中期経営計画における考え方

配当水準のベースを高めつつ、業績変動に左右されない指標としてDOE(自己資本配当率)を採用

従来 配当性向基準(23年度は35%目標)

24中期 DOE(自己資本配当率) **3.5%**

利益上振れ時は自社株買い等による追加還元を検討



トピックス

- ・6月26日に環境配慮型電気炉鋼材「すみれす」の販売を開始
- ・7月受注分より毎月受注実績あり、9月より順次出荷開始、建築物件への一部採用も決定

すみれす

すみれすの特長・ターゲット

オフサイトPPAの環境価値(再エネ発電量)を適用し、
電力起因のCO₂排出をゼロにすることで脱炭素社会に貢献

品質および納期は通常製品と同様で
当社の製造販売するすべての規格・サイズの厚板に対応

価格は一律、通常製品+8,000円/トンに設定しマージン確保

脱炭素化に積極的な建築向けをはじめ、
幅広いユーザーへ電炉材の環境性能をPR
脱炭素社会への貢献を果たしつつ、
厚板市場におけるシェア拡大を目指す

受注販売状況

当社の主需要先である産業機械向けを中心に、幅広いユーザーからの受注実績あり。9月より順次出荷を開始。
建築向け案件については、大手不動産デベロッパーが開発中のオフィスビルに鉄骨材として一部採用が決定。

今後の取り組み

新設の建材統括チーム
による拡販

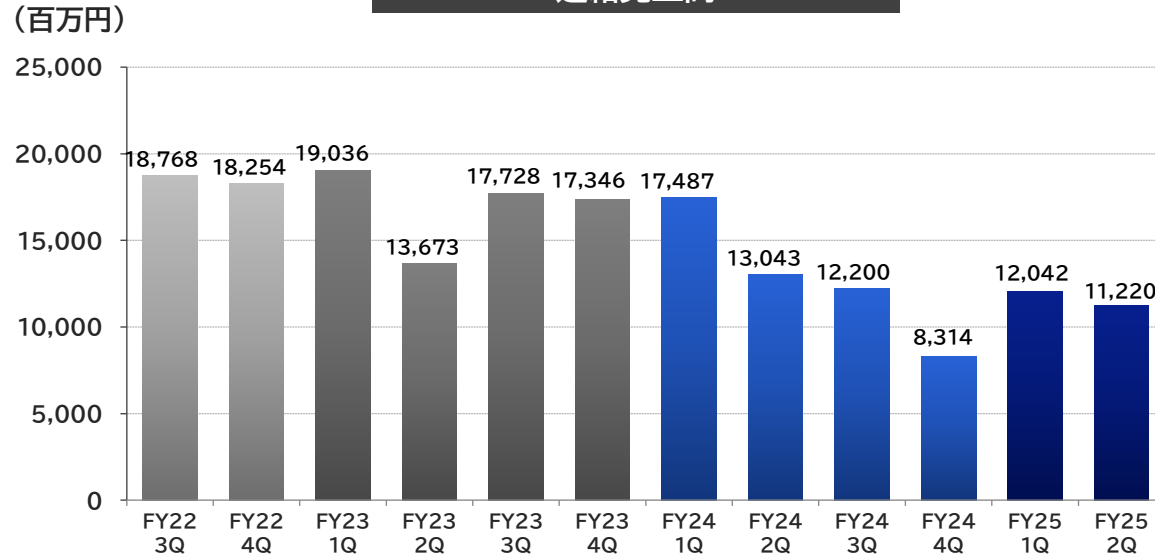
建材の拡販に向けて、施主、ゼネコン、
設計事務所等の川上へのアプローチを強化

再生可能エネルギーの
調達拡大

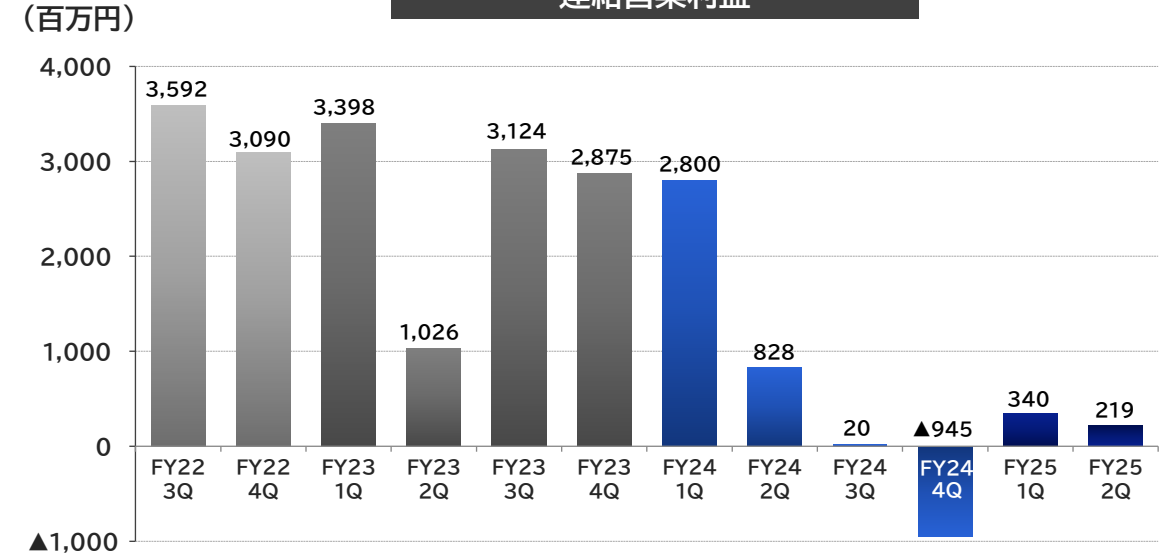
クリーン電力の購入、バーチャルPPAの
導入等の検討

Appendix: 四半期業績推移(直近3年間:連結)

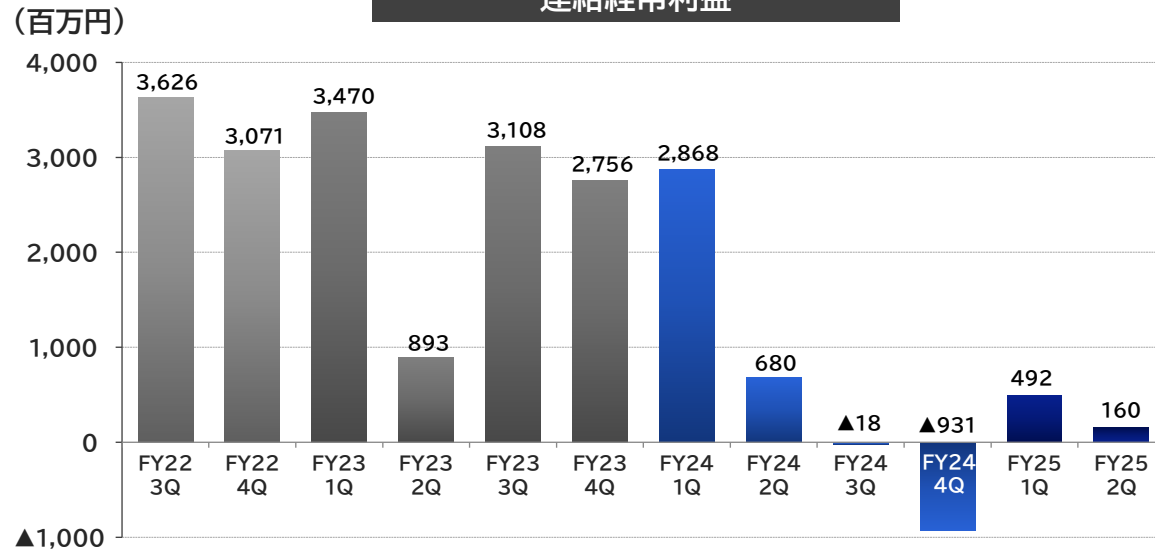
連結売上高



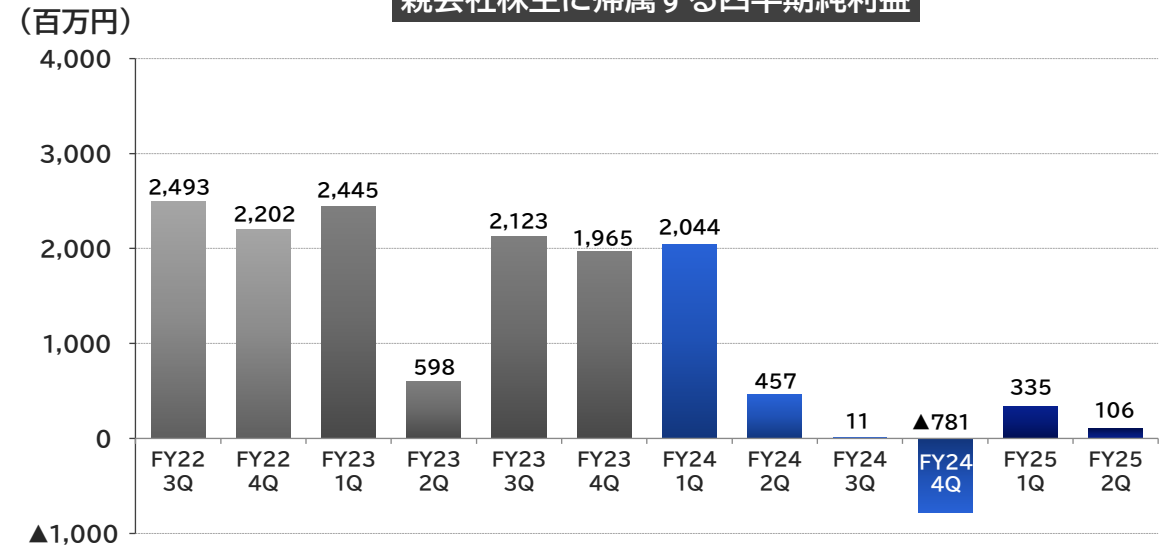
連結営業利益



連結経常利益



親会社株主に帰属する四半期純利益



将来見通しに関する注意事項

本資料に記載されたいわゆる「見通し情報」は、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

あつい心で未来を創ります



中部鋼板株式会社